

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻 准教授
氏名 Name	葛 清行
専門分野 Academic Field	日本文献学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	古代・中世日本の言語と文化
<p>本年度成果を発表した研究は、次の三点に分けられる。</p> <p>1, 抄物の研究：科学研究費補助金「中世抄物の註釈の展開－『山谷幻雲抄』『黄氏口義』の比較による－」（研究代表者、若手研究（B）、16K16762）の交付を受けて進めている研究である。8月23日、京都大学文学部で行われた、訓点語学会の主催による抄物講習会で、講師を務めた。9月、抄物について、他分野の文献には認められない説話が抄物にのみ認められることがあるという事例を紹介し、抄物研究の意義を主張する研究発表"Chinese Anecdotes in the Shōmono"(15th International Conference of the European Association for Japanese Studies, Lisbon)を行った。</p> <p>2, 毘沙門堂本古今集註の研究：国文学研究資料館のプロジェクトに参加する形で進めていた研究である。研究期間が満了となり、『中世古今和歌集註釈の世界』（勉性出版、2018年3月）が刊行された。この中で、「毘沙門堂本古今集註声点の文献学的検討」を執筆した。該本に附されている声点は何を目的とするものであるかを研究したものである。</p> <p>3, 漢故事の研究：研究分担者として参加している科研費「中世における漢故事のパラフレーズ」（研究代表者森田貴之、基盤研究（C）、16K02379）。9月、『蒙求和歌』に見られる『蒙求』原典の解釈について、後代の『蒙求抄』と比較してその独自性を明らかにする研究発表"Chinese Anecdotes in Mogyu sho"(Japanese studies conferences, Japan - premodern, modern, and contemporary, Bucharest)を行った。</p> <p>なお、2018年1月1日から3月31日の間、育児休業を取得した。</p>	